

## 米田悦啓氏、国際ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム機構 理事長に就任

ストラスブール（フランス）2024 年 6 月 26 日 - 国際ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム機構（HFSP）は、世界的に評価の高い日本人細胞生物学者、**米田悦啓氏**が同機構の理事長に就任すると発表しました。

HFSP 事務局長を務めるパベル・カバト教授は、  
「米田氏を理事長としてお迎えできることを大変嬉しく思います。同氏は細胞生物学の先駆者であり、科学界を代表する研究者で、主要な研究機関に多大な良い影響を与えてきました。」と語りました。

米田氏は、2018 年から 2024 年まで理事長を務めた長田重一氏の後任として、HFSP 設立以来 35 年の間で 7 人目の理事長となります。



パベル・カバト教授は、「長年にわたる長田理事長の HFSP への貢献と献身に対し、深い感謝の意を表したいと思います。同氏の知恵と知見はかけがえのないものでした。」と語りました。

1987 年に G7 によって提唱された HFSP は、研究グラントやフェローシップを通じて、生命科学における先駆的かつ学際的な研究を支援してきており、17 の加盟国・極（欧州委員会）により出資しています。HFSP の研究提案は専門家同士の相互評価によって評価が行われ、最も大胆で画期的な研究（すべて国際的な協力が必要）のみが支援を受けることができます。HFSP はこれまでに、世界各国 8,500 名以上の科学者に対して、4,500 件以上の賞を授与してきました。プログラム発足当初から、[29 名の HFSP 受賞者がノーベル賞を受賞しています。](#)

日本政府（文部科学省、経済産業省）からの推薦を受けた米田氏は日本の理事に就任し、今年 6 月にワシントン D.C. で開催された HFSP 理事会で満場一致で理事長に選出されました。

同氏は、大阪大学名誉教授であり、一般財団法人阪大微生物病研究会（BIKEN）理事長を務めています。また、2015 年から 2022 年までは国立研究開発法人医薬基盤・健康・栄養研究所を理事長として率いたほか、「栄養と身体活動に関する WHO 協力センター」の所長も務めました。

米田氏には、HFSP と長年培った絆があります。1998 年と 2001 年の 2 回にわたって HFSP 研究グラントを獲得しており、これが核・細胞質間輸送の分子メカニズムに関する重要な発見につながりました。

米田氏は、「このような大きな影響力を持つ世界的な組織で非常に重要な役割を任せていただくことを光栄に思います。HFSPは、科学的知見の飛躍的な進歩を目指す世界でも数少ない組織です。このような研究を通して、私どもは人類のために偉業を成し遂げるチャンスがあるのです。」とコメントしました。

####

国際ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム機構の所在地

12 Quai Saint-Jean, 67000, Strasbourg, France

[www.hfsp.org](http://www.hfsp.org) | オフィス電話+33-(0)3 88 21 51 23 | HFSP Twitter | [Facebook ページ](#)